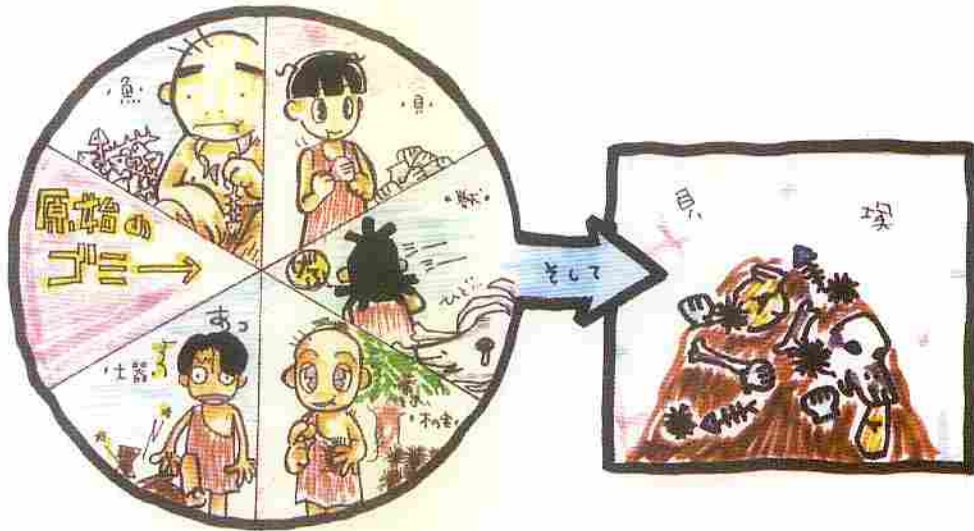


2 人間とごみとのかかわりを考える



人間は、衣食住すべてにおいて自然界のものを消費しています。消費した残りや不必要になったものがごみです。昔の人々はどうしていたのか、これからどうしたらよいのかを学習し、生活を工夫していきましょう。

江戸時代〈職人尽絵から〉



こわれたものは修理し、繰り返し使う工夫をしています。



現在の青森市では、緑ダストボックスに出されたごみは燃やし、オレンジダストボックスに出されたごみは、分別したあと燃やしたり、細かく破碎したあと最終処分場で埋め立てます。

また、自分の家で焼却したり、コンポスターで肥料を作ったり、資源回収に出したりもします。個人や団体でリサイクルや不用品交換などもしています。また、乾電池やペットボトル・トレイは専用回収ボックスで回収しています。